

照見五蘊皆空度一切苦厄



平成31年5月

前回の寺報では「五蘊」

一、「色」 しき

人間の肉体や物質。

二、「受」 じゆ

苦楽などの感受作用。

三、「想」 そう

赤い花や白い靴といった

ような概念

四、「行」 ぎよう

物事に善悪や好き嫌いな

どの意識を付けること。

五、「識」 しき

物事を認識すること。

についてお伝えしました。

般若心経の主人公、観音菩薩

が深い智慧の実践を行ずる(修

行された)時、右の五蘊は全て

「空」である。

と、その因果や働き、関係性

を明らかにされました。



寺 讚 恵 心 寺

発行 〒610-0343
京都府京田辺市
大住八河原九
宿谷真治
電話 0774-62-3137

では、それでどうなったので
しょうか？

般若心経の次の偈文を見て

みますと「度一切苦厄」と説か

れています。

「度」とは、一般的には、「角

度」や「たび」と読んで回数を

表したりするのに用いる漢字

です。

しかし、仏教で使用する場合

は、また違った意味を持ってお

り、「度」 || 「渡す、渡る」と

いうように用いられます。

では、「渡る」とは、どちら

からどちらまで渡ることを意

味するのでしょうか。

それは、娑婆世界から仏の世

界に渡ることを意味します。

つまり、苦しみの状態から目

覚めの状態へ自分自身が変化

することを「度」と言います。

そのように考えてみますと、「
度一切苦厄」とは、苦しみの
一切を悟った状態になった。と
いう意味になります。

観音菩薩は、五蘊が全て「空」

であると、その因果や関係性

を明らかにされました。

すると、苦しみや厄の一切が

取り除かれ、悟りの境地に至り

ました。

私達は人それぞれに、それぞ

れの悩みや苦しみを生きてい

ます。

その中でも特に大きな苦し

みは、「その因果や関係性、理

由がわからない」から苦しいこ

とが多くないでしょうか。

例えば、ある病気に掛かった

とします。

原因は煙草やお酒といった

普段の習慣のせいかもしれま

せん。

そこまでは納得できますが、

「何故、数ある人間の中で私に

限って」という本質の問題に
なるとどうでしょうか。

仏教ではそれら全てに原
因と結果の因果関係がある
と説きます。

それと同時にその全ての

因果関係を明らかにするこ

とが、いかに困難であるか。

ということも仏教で議論さ

れています。

それではどのようにすれ

ば良いか

そこで仏教では「自身の行

いを少しでも正していく」と

いう実践を説きます。

それが、これからの因果を

作っていくからです。

その実践に早いも遅いも

ありません。

今から1ミリ前に進むだ

けでも大丈夫です。

天皇即位に新元号と時代

は新しくなります。

私達も、この巡り合わせに

際し、新しく正しく生きるこ

とが出来れば幸いです。